広報 EDOGAWA CITY
あなたの区政
# えどがわ
2012年 平成24年 1/1 No.1635 毎月1日・10日・20日発行
新春特集号
■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

ホテルシーサイド江戸川にて

# 新春さわやかトーク
## 「心を育む音楽の魅力」

尺八演奏家 **藤原道山**さん ◆ **多田区長** ◆ 声楽家（ソプラノ） **國井道子**さん

今回の新春対談は、尺八演奏家の藤原道山さんと声楽家の國井道子さんをお招きし、多田区長と「心を育む音楽の魅力」について語っていただきました。

始めに、藤原さんと國井さんによる「早春賦」の演奏と歌をご披露いただき、引き続いて3人の対談を行いました。

### パイオニア精神から学んだもの

**区長** あけましておめでとうございます。

**藤原・國井** おめでとうございます。

**区長** 今年もどうぞよろしくお願いします。今、お二人の尺八と歌を聴かせていただきました。とてもすばらしかったです。

**藤原・國井** ありがとうございます。

**区長** お二人とも江戸川区のご出身ですが、共演はおそらく初めてだと思います。演奏してみていかがでしたか？

**國井** 今日初めてお会いしました。短時間でしたが、音のキーや吹き方、歌い方などを確認しましたので、とてもスムーズにできました。

**区長** 道山さんの尺八は、以前に一度聴かせていただきましたが、それはもうびっくりしました。今まで聴いてきた伝統的な尺八とは違って、洋楽に合わせて演奏されていたのです。ジャンルの違った音楽とコラボレーションをしながら、自分の音楽を追求していくことを試みていらっしゃいますね。

**藤原** 今日のように、歌との共演もありますが、最近では、昨年12月にウィーン・フィルの弦楽四重奏団と共演をしました。ほかにも、ピアノとチェロとのユニットを組んだり、ほかの邦楽器とオーソドックスで伝統的な楽曲を演奏したりしています。

**区長** 演奏のベースになっているものは、箏曲奏者・宮城道雄さん（2面下欄参照）の「パイオニア精神」だと伺っていますが。

**藤原** そのとおりです。宮城道雄さんは、日本の伝統を大切にしつつ、その時代に合わせた音楽づくりを常に心掛け、邦楽を通していろいろなことを伝えた方だと思います。

**区長** 尺八や箏などの邦楽というと、一般の方は「わびさび」をイメージするでしょう。道山さんは敢て、「洋」の世界を取り込み、それを融合することに挑戦していますね。

**藤原** こういった活動ができるのは、宮城道雄さんの姿勢から学び、影響を受けたことがすごく大きいですね。私が

（2面へつづく）

# 音楽で心に感動を そして、日本に勇気と希望を

## 江戸川区長 多田正見

（1面からつづく）

思う伝統とは、「自然に風土が育んだもの」だと思っています。だからこそ、人々にどんどん受け継がれ、今に伝わっているのでしょう。私自身も伝統的な曲を演奏するときは、体のフィルターを通して音を発する作業を行い、音に命を与えています。

**区長**　なるほど。そのような作業をすることで、多くの方々が道山さんの尺八を、新鮮でとても魅力的であるとの評価をしてくださるのでしょう。

**藤原**　大変ありがたいことだと思っています。

### 世界各国で魅力ある歌声を披露

**区長**　國井さん、先ほどはとてもすばらしい歌声を聴かせていただきました。

**國井**　早春賦は、作詞をされた吉丸一昌さんが、安曇野の辺りの雪解け風景に感銘を受けて書き上げた詞で、江戸川区にゆかりがあるのですよね。

**区長**　安曇野市は、江戸川区が長年お付き合いをさせていただいている友好都市です。私も何回も行っていますが、歌詞のように、これから春を迎える季節ですので、それらと重ね合わせて聴かせていただきました。國井さんの歌声は、いつも魅力的で引き込まれてしまいますね。

**國井**　ありがとうございます。

**区長**　現在、国内外の公演に出演されていて、大変なご活躍ですね。

**國井**　実はこの早春賦、ブラジルでも歌いました。早春賦は大正2年にできましたので、来年で100年を迎えるのですよ。いい歌はいつまでも残っていくのですね。これからも歌い継いでいきたいと思います。

**区長**　國井さんはオペラの歌手ですから、外国語で歌わなくてはいけませんね。

**國井**　そうですね。中でも、イタリア語が一番多いです。イタリア語は日本語と比べて明るく、オープンな感じなので発声にとてもいいですよ。

**区長**　イタリア語ですか、私は分かりませんけど、難しいのですよね？

**國井**　例えば、「ボンジョルノ（＝おはよう）」という言葉は、発音をすることによって、体全体を使って話すという肉体労働をしています。

そういえば区長さん、ロシア語ができますよね？

**区長**　えっ？　できませんよ（笑）。

**國井**　「カチューシャ」をロシア語で歌われているのを聴いたことがあります。ロシア民謡は若い頃に歌声喫茶とかで、かなり歌われましたか。

**区長**　歌いましたね。みんな青年歌集をポケットに入れて大学に行きました。学校では溜まり場ができていて、誰かしらアコーディオンを弾き、そこでいろいろな歌を覚え、それから歌声喫茶へ行くのです。

**國井**　それはいつ頃のお話ですか？

**区長**　昭和30年代ですね。歌はみんなの楽しみでした。その頃は、戦後復興の基盤が整いはじめ、文化的な活動を行う機会が増えてきました。その中心が、歌を歌ったり、クラシック音楽を鑑賞したりすることだったのではないかと思います。

**國井**　当時は今ほど、テレビも普及していませんしね。

**区長**　戦後の厳しい時代の中で、歌は私たちの気持ちを明るくしてくれたに違いありませんね。

**國井**　音楽にはそういう力がありますね。

### 人々にかけがえのない「音楽の力」

**区長**　その「音楽の力」についてお聞きしたいのですが、どういう形であれ、私たちにとって音楽のない生活は考えられませんよね。テレビでもラジオでも必ず流れていますし、もう生活の一部です。

**國井**　音楽があることが当たり前ですよね。テレビドラマを見ていても、クライマックスのシーンで音楽が流れてくると、より感動しませんか？

**区長**　もっと身近でいえば、私の妻がそうです。機嫌のいいときは歌を歌いながら家事をしていますよ。「ああ、今日は機嫌がいいのだな」と（笑）。

**國井**　区長さんにとってのバロメーターですね。

**区長**　ほかには、区民のみなさんが、いろいろな場面で江戸川区歌を歌ってくださいます。私も地域の行事などに出席し、一日に7回も8回も歌うことがあります。区歌を歌うことで、「私たちは江戸川区民です」という気持ちの確認ができます。そう考えると、歌には人の心を慰めたり、勇気を与えたりするなど、様々な効用があると思います。

そういえば道山さんは、東日本大震災後に被災地の復興支援として、チャリティーコンサートをされたそうですね。

**藤原**　はい、何回か行いました。東北の友人から「音楽が聴きたい」との話があったので、「すぐにやりましょう」ということになりました。実際に演奏してみて、みなさんから「慰められました」などの声をたくさんいただきました。やはり音楽は、万民が共有する文化であると強く感じましたね。

**区長**　そうですね。一口に音楽と言っても、私たちが日常で接するポピュラーなものもあれば、お二人のような非常に高度で芸術性が高いものもあります。

**國井**　高度と言われると敷居が高いと思われて、みなさんに足を運んでいただく機会が少なくなるのではないかと心配になります。

**区長**　多くの方は、そういう質の高いものに接したいのだと思います。これはスポーツで、レベルの高いプロのプレーを見て感動を味わいたいのと同じです。ですから、お二人のような芸術性の高い音楽を聴き、質の高さを求める気持ちは普遍のものだと思うのです。

### 家族と共に歩み 人生を切り開いた音楽

**区長**　道山さんが、尺八の世界に入ったきっかけは何ですか？

**藤原**　小学5年生の頃、祖母の勧めで始めました。また、父がジャズやクラシックを好きで、いつも家で音楽が流れている環境でした。幼少時代に音楽に囲まれ、体感しながら育ったことは、音楽家として恵まれていたのかもしれませんね。

**区長**　道山さんのおばあ様でいらっしゃる坂口嘉代子さんは、箏曲奏者として今もご活躍です。また、江戸川区芸能文化協会の相談役として、芸能・文化の発展に寄与されていらっしゃいます。

**藤原**　祖母は邦楽を通して、いろいろな形で日本の伝統文化に携わり、江戸川区の中で箏曲の裾野をどのように広げていくのかを考えて活動しています。

**区長**　初めて尺八を演奏したときの印象は？

**藤原**　最初は全然音が出なくて、とても悔しい思いをしました。それからは夢中で練習をしました。

**区長**　そうでしたか。その悔しさをバネに、努力を積み重ね、今の道山さんがあるのですね。そのほかの音楽も勉強されたのですか？

**藤原**　高校のときはブラスバンド部に入り、いろいろな音楽に関わっていました。また、大学でも尺八はもちろん、ほかの邦楽器であったり、長唄であっ

（左上へつづく）

**國井**　そういう気持ちを失わないことが若さを保つ秘訣でもありますね。私が講師をさせていただいている「くすのきカルチャー教室」のコーラスの生徒さんには、文化祭のときに少しレベルの高い曲に挑戦し、振り付けも覚えていただきます。上手にできたときにはものすごくやりがいを感じ、次に向かって頑張ろうっていう気持ちを持ってくれますね。

**藤原**　上手にできたときの達成感は大きいですよね。それに、歌は体の中から響かせていくものなので、いつも以上に呼吸をします。これは尺八でも同じですが、体を響かせ、普段動かしていない部分を動かすことで一層元気になりますよね。

■尺八とソプラノのコラボレーションが実現！

# 好きなことを心から楽しみ いつまでもいきいきと

（右下からつづく）

たり、能や雅楽にも興味がありました。それに洋楽の勉強もしたかったので、ほかの授業に潜り込んで洋楽器のことを学びました。そういった経験が、今の自分にとって非常に大きいと思います。

**区長**　つまり尺八の世界だけではなく、様々な芸術・文化に触れ、自分の立ち位置というものを学んでいたということでしょうかね。

**藤原**　「尺八」というだけで、「伝統音楽で、敷居が高い」というイメージを持たれますが、元々は生活に密着していて、身近にある音楽です。私はその尺八をありのままに表現して、できるだけ親近感を持っていただきたいという思いがあります。

**区長**　國井さんは武蔵野音楽大学のご出身で、ご家族も音楽一家ですね。

**國井**　はい、両親、主人も同じ卒業生です。

**区長**　ご主人もそうですか？　毎年、総合文化センターで、ご家族全員が参加して「くにいファミリーコンサート」を開催されています。今年で10回目を迎えるそうですね。司会も國井さんがされるのですが、ものすごく楽しく盛り上げてくださいますよね。

**國井**　ちょっと手前味噌ですが、くすのきカルチャーセンターの生徒さんがコンサートの後に「こんな先生に教えていただいて幸せです」とか「これから私たちも頑張って歌います」などと言ってくださいます。こういった一言で、本当にやってよかったなと感じますね。

**区長**　オペラ歌手になったのはなぜですか。

**國井**　大学に入り、新入生歓迎会でオペラ研究部顧問の大谷冽子先生（下欄参照）がモーツァルトのオペラを上演している姿を見ました。そのとき「私もやってみたい」と思ったのがきっかけです。そしてすぐに入部し、授業でもオペラコースに入り、もうオペラ三昧の学生生活でした。

**区長**　お二人ともそれぞれの音楽環境を活かして、自分の人生を切り開いていらっしゃる、これはとてもすばらしいことだと思います。

**國井**　好きなことをやってきて、今こうしていられるので本当に幸せです。

### 上質の音楽を身近に実感

**区長**　江戸川区では、総合文化センターができた昭和58年頃から本格的に文化施設が整備され、同時に國井さんのお父様をはじめ、いろいろな方々の努力により区民文化のレベルを上げていただきました。また、子どもたちに日本の伝統音楽を伝えたいとの思いで、区内全ての中学生を対象に、邦楽鑑賞教室「日本のしらべ」を実施し、道山さんや坂口さんにも出演をしていただいていますね。

**藤原**　私が中学生の頃、オーケストラの教室はあったのですが、邦楽に関しては全くありませんでした。そこで、邦楽や邦舞を多くの方に身近に親しんでもらうために、江戸川邦楽邦舞の会の代表である常磐津清若太夫さんたちと始めたのが「日本のしらべ」です。昨年で20回を迎えました。

**区長**　中学校が33校ありますが、何年かで回るのですか？

**藤原**　年に11校ずつで、3年で全部を回ります。この教室に初めて携わったとき、私は大学生でした。

**区長**　私も何回か拝見しましたが、いろいろな楽器が演奏されて、それはもう楽しかったです。そのような中、私は生徒たちの鑑賞の仕方に興味があったのですが、全員が生の演奏に引き込まれ、集中して聴いていましたね。

**藤原**　初めて聴く生徒が多いので、「何だろう、何だろう」と夢中になって聴いてくれている感じをすごく受けますね。先生や保護者の方々は、「騒いだらどうしよう」と心配するようですが、私は音楽として、そのまま受け取ってもらいたいという思いがありますので、ざわついても気にしなくていいと思っています。勉強のために聴かなければいけないと思うと、子どもも身構えますし、聴かされている感覚になってしまうと面白くなくなりますからね。

**國井**　演奏する側としては、やはり楽しんでいただきたいですね。ですから、かしこまって拍手だけをするような鑑賞態度よりも、手拍子をしたり、笑い声が聞こえたりする方が演奏しやすいです。

**区長**　鑑賞教室の最後に生徒たちに質問をさせると、みんな「ハイ！」「ハイ！」と手を挙げて、「先生はいつから尺八を始めましたか」とか「演奏していてどこが難しいですか」などと聞いているのです。

**國井**　それはとても興味を持ったという証ですね。生の音楽は、現場で聴いただけでカルチャーショックを受けますね。

**区長**　「生の力」ですね。

**國井**　そのようなチャンスを与えてくださることで、音楽人口の裾野も広がっていくと思いますよ。

**藤原**　若いときにいろいろな音楽を肌で感じることができるのは、大変ありがたいことだと思いますね。

**区長**　ここ何十年かで、音楽人口が増え、年齢層も幅広くなったと思います。これは音楽ができる豊富な施設とも関連するのでしょうね。活躍のステージがないと、そういった文化も盛んになりませんよね。

**國井**　そういう場所で、演奏できることが楽しみであり、自分の成長にもつながりますからね。江戸川区のみなさんは恵まれていると思います。

**藤原**　音楽ができる場所を予約するのも大変ですよね。しかしこれは、音楽に触れる方が多い証拠であり、施設があるからこそできることです。

**区長**　幸せだなと思うのは、現代の子どもたちには、学校でいろいろな音楽や楽器に触れる環境があることです。つまり、大人になってから自分が好きなら、その道に入っていける下地を、教育の中で受けることができるのです。戦後の時代はそういうものが何

（4面へつづく）

## 國井道子さん

■武蔵野音楽大学卒業。藤原歌劇団公演「蝶々夫人」のケイト役でデビュー後、「マイ・フェア・レディ」「オズの魔法使い」などのミュージカルに主演。その華やかで存在感のあるステージは「芸術的タレント性」と評され、コンサートなどでは“歌と司会”として活躍。藤原歌劇団団員、昭和音楽大学講師。

## 藤原道山さん

■10歳から尺八を始め、人間国宝・山本邦山に師事。東京藝術大学大学院修了。平成13年にソロアルバム「ＵＴＡ」をリリース。23年に第32回松尾芸能賞・新人賞を受賞。映画「武士の一分」の音楽では、ゲストミュージシャンとして参加。15年に江戸川邦楽邦舞の会の一員として江戸川区文化功績賞を受賞。

■「日本のしらべでは、生徒たちに邦楽をごく自然に聴いてほしい」と願う藤原さん

# 受け継いだ文化と心を 次の世代に伝えていく

**大谷冽子**⇨武蔵野音楽学校（現・武蔵野音楽大学）卒業後、藤原歌劇団公演「ファウスト」マルガレーテ役でデビュー。以降、「椿姫」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」など、多くのオペラに出演。演出にも力を注ぎ、国内外で高い評価を得ている。

**宮城道雄**⇨1894～1956年。明治・大正・昭和時代にかけて活躍した箏曲奏者、作曲家。代表作である「春の海」は、国外でも知られている。西洋音楽の要素も取り入れ、邦楽の協奏曲を手掛けるなど、多くの音楽家に多大な影響を与えた。

（3面からつづく）

もなかったのでうらやましいと思いますね。私たちの年代では、今から楽器を覚えることは難しいでしょうけれど…。

**國井**　そんなことはないですよ。カルチャー教室の生徒さんたちも、第二の青春という感じで頑張っていますから、区長さんもぜひ。

**区長**　歌を歌うことはできるかもしれませんが。

**國井**　大正琴やウクレレ教室で演奏している生徒さんもいますよ。今からでは遅いということはないと思います。

**藤原**　きっかけと気持ちですよ。

**区長**　そう言われると、始めてみようという気持ちになりますね。では、先生方に入門しますかね。

**國井**　しごきますよ（笑）。

## 心に響く音楽で地域文化を高める

**区長**　お二人は国際的にご活躍であり、日本と外国の音楽的文化の土壌の違いを感じていると思います。やはり音楽や芸術に対する意識というのはヨーロッパでは相当高いのでしょうか。

**國井**　日本とヨーロッパでは、音楽文化に対する考え方が根本的に違いますね。

**区長**　時々、音楽映画を見ますが、ヨーロッパのオペラやバレエでも、観客の反応の仕方が日本とはちょっと違うような感じを受けます。

**國井**　どのような反応ですか。

**区長**　演奏が終わると、感動をあらわにするところです。

**國井**　確かにそのあたりは日本人とは違いますね。

**区長**　日本人の性格的なものがありますかね。派手に自分を表現するのが得意ではないのかもしれません。

**國井**　日本の文化は、自分の気持ちを内面に抑える傾向があると思います。例えば、足さばきを内輪にしたり、合掌をするときには下を向いたりします。しかし西洋ですと、足は外輪になりますし、「神様！」と言うときも、上を向いて祈ります。そのあたりがまるっきり逆だと考えていいのかもしれません。

**藤原**　バレエを見ても、地面から離れようとして、跳ぼう、跳ぼうという表現をします。一方、日本の「能」は、地に足を着けることが基本です。これは農耕文化の影響ですかね、大地を大切にする表現をします。そう考えると、天を仰ぐというヨーロッパの文化は、日本とは違うということが言えるかもしれませんね。

**國井**　日本は島国で、閉鎖された文化であったわけですから、違っているのは仕方がありませんよね。

**区長**　そういう文化の違いがあることを理解して、それぞれの良さを高めていくことが大事ですね。

**藤原**　そうですね。もしかしたら土地柄により、そこしか共有できないものもあるのでしょうが、根本的感情の部分は、人間誰しも同じように持っていて、互につながっているのかもしれませんね。

**区長**　ですから、いろいろ伝統や文化に接して、それぞれの国民性なども理解して、幅広く音楽を楽しむことが大切なのではないでしょうか。

**國井**　「音を楽しむことが音楽」ですからね。

**藤原**　今の時代、テレビやインターネットで誰もが気軽にいろいろな音楽を聴くことができますが、実際に肌で感じる生の演奏を聴いてもらいたいなと思いますね。

**区長**　確かにそうですね。音楽は私たちの生活の中になくてはならないものだと思います。そして私たちの心にとっても同じです。音楽の魅力は、楽しめることはもちろんですが、やはり希望や勇気、そして元気をもらえることだと思うのです。今、東日本大震災の影響もあり、常に厳しい国情です。それでも、「がんばろう日本」「元気出そう日本」を合い言葉に、どんな社会情勢でもお互いを分かち合い、感動を抱き、自分を高めていくことが大切だと思います。そのために音楽は非常に重要であり、お二人はその役割を担っているのです。

**藤原・國井**　光栄です。

**区長**　お二人はメジャーな方々ですから、今後も、日本の音楽界や地域の音楽、つまり私たち区民のために大いにご活躍され、地域文化の向上にもご尽力いただきたいと思います。

**藤原**　これからの時代は、心が重要であり、何をやるにしても心がベースになっていくと思います。音楽は心を育む上で、とても大きな力を発揮するものですので、その良さを伝えていくことができればと思っています。今年の年も、尺八を通して受け継いだ文化と心を伝えていきたいと思います。

**國井**　私も心を大切にしたいと思います。みなさんに感激してもらえる一番の手段は、生の演奏をお見せすることだと思っています。目の前で歌ったり、聴いていただいたり、そういう機会をぜひたくさん作りたいですね。

**区長**　ぜひお願いします。今日は大変すてきなお話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。

**藤原・國井**　こちらこそありがとうございました。

■「くすのきカルチャー教室では生徒さんからたくさんの幸せをいただいてます」と國井さん

## 休日急病診療

◉ 診療時間⇨9時～17時（急病のみ受け付け。往診は不可）
◉ 外科は救急病院（「平成22・23年度くらしの便利帳」186ページ参照）をご利用ください。
◉ 当番医（変更になる場合もあります）、医療機関の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
▷江戸川区医師会テレホンセンター＝日曜・祝休日9時～17時　☎(3651)5270／FAX(3654)4902
▷東京消防庁救急相談センター＝24時間
・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇨☎#7119
・ダイヤル回線⇨☎(3212)2323
▷東京都保健医療情報センター「ひまわり」＝24時間
☎(5272)0303／FAX(5285)8080

### 江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

◉ 診療科目⇨小児科・内科
◉ 診療時間⇨①日曜・祝休日9時～17時
②毎日21時～翌朝6時
◉ 問い合わせ⇨①☎(3655)5151／②☎(3651)5270
※右欄の江戸川区医師会館の地図を参照。
※応急処置のため、薬の処方は最小限となります。

### 休日急病当番医

**1月2日**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小 | はるやま小児科 | 南篠崎町2－10－1 | ☎(3679)1188 |
| 内・小 | 辰巳内科消化器科クリニック | 一之江7－35－22 | ☎(5678)5115 |
| 内・小 | 養命閣医院 | 南小岩6－18－5 | ☎(3673)5333 |
| 内 | 西村記念病院 | 平井3－25－17 | ☎(3638)2301 |
| 眼 | 松江八木橋眼科 | 松江2－1－5 | ☎(5607)3505 |
| 耳鼻 | 船堀ゆり医院 | 船堀1－4－13 | ☎(5605)3301 |

**1月3日**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内・小 | 杉山医院 | 松島2－28－6 | ☎(3653)2022 |
| 内・小 | 辰巳内科消化器科クリニック | 一之江7－35－22 | ☎(5678)5115 |
| 内・小 | 長山医院 | 西小岩3－21－11 | ☎(3657)8789 |
| 内・小 | 徳永医院 | 南小岩3－10－10 | ☎(3657)4652 |
| 眼 | 松江八木橋眼科 | 松江2－1－5 | ☎(5607)3505 |
| 耳鼻 | 角田耳鼻咽喉科気管食道科医院 | 本一色3－1－9 | ☎(3655)3387 |

**1月4日**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内・小 | 下鎌田診療所 | 江戸川1－29－1 | ☎(3677)3321 |
| 内・小 | 宮澤クリニック | 西葛西6－18－3 | ☎(3878)0826 |
| 内・小 | 成光堂クリニック | 北小岩2－7－6 | ☎(3657)6576 |
| 内 | 江戸川共済病院 | 南篠崎町1－2－16 | ☎(3679)5211 |
| 眼 | 松江八木橋眼科 | 松江2－1－5 | ☎(5607)3505 |
| 耳鼻 | かさい駅前耳鼻咽喉科 | 中葛西5－36－12 | ☎(5659)1878 |

**1月8日**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小 | 麻生小児科医院 | 西葛西6－9－12 | ☎(5659)5220 |
| 内・小 | むらかみクリニック | 一之江7－38－8 | ☎(5678)7377 |
| 内・小 | 小暮医院 | 興宮町16－13 | ☎(3653)5347 |
| 内・小 | 篠崎駅前クリニック | 篠崎町2－407－2 | ☎(5666)1331 |
| 内 | 一盛病院 | 小松川3－10－1 | ☎(3637)0050 |
| 眼 | 井出眼科クリニック | 篠崎町7－27－23 | ☎(3676)3333 |
| 耳鼻 | 梅澤医院 | 松江2－1－20 | ☎(3656)3387 |

**1月9日**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内・小 | 広見医院 | 中央2－28－18 | ☎(3651)5376 |
| 内・小 | なかぞのクリニック | 一之江7－49－5 | ☎(5661)9855 |
| 内・小 | 吉岡医院 | 南小岩5－16－8 | ☎(3657)1037 |
| 内 | おかはら胃腸クリニック | 東葛西6－2－13 | ☎(5659)2155 |
| 内 | 江戸川共済病院 | 南篠崎町1－2－16 | ☎(3679)5211 |
| 眼 | 原眼科 | 中央4－4－2 | ☎(3652)2108 |
| 耳鼻 | 耳鼻咽喉科増田医院 | 篠崎町7－27－23 | ☎(3676)4133 |

## 休日応急当番接(整)骨院

◉施術時間⇨9時～17時

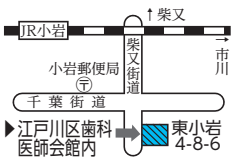
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1月2日 | 安藤整骨院 | 大杉5－6－21 | ☎(5678)0678 |
| 1月2日 | 保坂接骨院 | 船堀6－11－19 | ☎(5605)7377 |
| 1月3日 | なめき接骨院 | 西葛西5－10－14 | ☎(5696)2844 |
| 1月3日 | やまざき整骨院 | 西小岩5－10－13 | ☎(3671)7566 |
| 1月8日 | 春江接骨院 | 一之江8－9－6 | ☎(5607)1989 |
| 1月8日 | 三恵接骨院 | 西小岩2－19－15 | ☎(3673)6121 |
| 1月9日 | 小山整骨院 | 東葛西8－6－3 | ☎(3689)5557 |
| 1月9日 | 小岩五中通り整骨院 | 東松本1－9－17 | ☎(5668)1213 |

◎受診の際は必ず健康保険証などを持参してください。

## 休日歯科応急診療

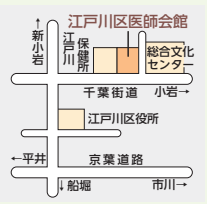
**1月2日～4日・8日・9日**

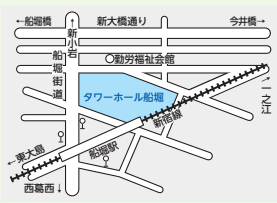
◉診療時間⇨9時～17時
◉電話またはファクシミリで予約のうえ、16時30分までにお越しください。休日専用＝☎・FAX(3672)8215




### 年始 休日急病診療所

日　1月4日(水)までの9時～17時
**診療科目**　小児科・内科
場問　**江戸川区医師会館**☎(3655)5151／**江戸川区医師会医療検査センター**（タワーホール船堀6階）☎(5676)7799＝開設時間内のみ




## えどがわ区民ニュース

新春1月号放映中！

新春対談
心を育む音楽の魅力

◆CATVで放送中！
◎J：COM江戸川　11チャンネル
（時9時から／12時から／20時から）
◆えどがわ区民ニュース Broad Band
http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/
問　映像広報係☎(5662)6167

## 江戸川区成人式

日1月9日(祝)　場総合文化センター　入平成3年4月2日～4年4月1日に生まれた方　問青少年係☎(5662)1629